

講座3 「あぶくま支援学校の授業実践の紹介～国語・算数・数学編～」



<講座内容>

保育士の方や小・中学校の特別支援学級の先生、高等学校の先生など、様々な方が参加されました。

前半は、本校教諭4名による算数と国語の授業紹介を行いました。算数は、「数えだし計算をする児童への分解の操作を通した10までの数の合成」についての紹介をしました。国語では「季語(季節の言葉)を使用して自分の経験や想像を、自信をもって伝えることをねらいとした俳句づくり」、「濁点の有無を理解し、書いたり読んだりすることをねらいとした文字の学習」、「色と物の二つの合わさった概念形成(例:赤色の帽子)をねらいとした言葉の学習」についての紹介をしました。授業で使用した教材の紹介もありました。

後半は授業実践についての協議を行いました。「数の概念について詳しく知りたい。」「国語や算数の指導を、一斉指導に生かしたい。」「思ったことを言葉で引き出すにはどうしたらよいか。」「お金の計算、時計の見方等の指導法を詳しく知りたい。」といった内容が挙げられました。参加者が意見を出し合うことで、多様な視点でそれらの課題を捉えアイデアを共有することができました。

～参加者の感想より～

- ・授業の紹介で具体的にやっている課題や教材がとても参考になった。色や言葉などは幼稚園でも使えるものなので、参考にさせていただきます。
- ・生活にかかわりのある点から教材化することが分かりました。
- ・グループ協議は、いろいろな意見や考えが聞けて良かったです。
- ・一人一人に合った教材を作り、楽しみながら取り組めるよう、目で見えてわかる工夫をしたいと思います。
- ・繰り返し伝えていくことの大切さを学びました。